

平成30年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立産業文化センター	所管課	文化・スポーツ振興課
指定管理者名	毎日興業株式会社	施設分類	市民文化系施設(集会施設)
指定期間	平成29年4月1日 ～ 令和3年3月31日	利用料金制導入	利用料金制のみ
導入年月日	平成29年4月1日	指定回数	3回
施設設置目的	産業の振興と市民の文化の向上を図る施設		
施設概要	【開設】平成5年11月1日 【延床面積】1119.9㎡ 【構造】鉄筋コンクリート造 【主な施設】多目的ホール、ギャラリー、会議室3部屋		
管理運営の基本方針	産業の振興と市民の文化の向上を図るため、市民の平等な利用が確保され、地域の連携、まちづくりへの貢献する施設を目指す		
指定管理者の主な業務	ホール、ギャラリー、会議室等の貸し出し、施設及び設備の維持管理、施設並びに付属設備の利用に関する業務 産業の振興と市民文化の向上を図るための自主事業		

【評価項目】

【評価基準】 5:目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合/4:目標値以上の結果で評価できる場合(上記「5」以外)、又は業務等が適切で、期待する水準以上であった場合/3:業務等が適切で目標値に達している場合、又は業務等が期待する水準どおりであった場合/2:実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値又は期待する水準をやや下回る場合/1:目標値を大きく下回る場合

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	利用者の安全に配慮しながら、施設の管理運営を行うとともに、産文フェスタなどのイベント事業や文化・健康に係る自主事業(34教室、1,350回)などを実施し、市内産業の振興と市民文化の向上に努めた。	4
区分	具体的な取組の状況・実績	
産文フェスタ	昨年度に引き続き産文フェスタを開催した。地域の団体によるワークショップ形式による各団体の発表と、ホールでは文化系の活動発表が行われた。2回目の開催となり、継続して参加した団体も多く、地域に根付いたイベントへと定着してきた。来場者は、昨年の620人から、1,613人と急増しており、文化・産業・コミュニティ振興などの中心施設としての役割を担っている。	
物販販売	利用者アンケートを参考に、平成30年度より、飲み物やアイス、おせんべいの販売を開始し、施設利用者のサービス向上に努めた。	
地域住民への配慮	日常清掃及び日々の巡回において、公園を含めた施設周辺ごみの回収や施設外周の草抜き等、環境美化に努めた。また、建物外に設置している自動販売機は、災害時支援型の自動販売機を設置しており、地域住民に対する配慮がなされている。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
特記事項(問題等があった場合)	収入においては利用団体の変動により、支出については、人件費の伸びにより、収支計画を下回ることとなったが、指定管理者としての組織体制は安定しており、市民の平等な利用が確保されている。	3

3 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
	多目的ホール	41,400	25,949	63%	63%	
ギャラリー	28,164	15,174	48%	54%		
第1会議室	6,000	4,550	83%	76%		
第2会議室	8,688	7,203	87%	83%		
第3会議室	11,760	7,096	92%	60%		
(特記事項) これまで、年6回(5,000人/回)約3万人/年の利用のあった大口団体の利用が、本年度はじめより無くなった事が大きく影響し、全体の利用人数減少となった。一方、空き室を活用した自主事業を実施することにより、自主事業の利用者は、昨年比で約14%増加した。						

区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及びその理由	
事業実施内容	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用許可に関する業務 施設及び付帯設備の維持管理業務 公平性の向上の為に、毎月1日の先着予約を抽選に変更。 	<ul style="list-style-type: none"> 抽選予約への変更について、システム確立、調整と告知期間等を考慮し翌年度へ変更した。
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業文化系教室の実施(21教室、791回) 自主事業健康系教室の実施(13教室、559回) イベント事業 産文フェスタ 歌声コンサート 物販 アイス販売 ドリンク販売 おせんべい販売を開始。 	
利用サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業の教室内容をパンフレット形式で作成し、チラシと合わせてロビーに設置した。また、ロビーのガラス面を利用し、外部に向けた告知も強化した。 ロビーホワイエのダウンライトの電球を全てLED電球に変更し、照度アップを図った。 		

3

4 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート	
	(2) 調査、会議等の内容 <ul style="list-style-type: none"> 実施時期 平成30年4月1日から平成31年3月31日 調査方法 施設利用者に対しアンケート用紙を配布し実施。 調査項目 ①スタッフ対応 ②館内外美観 ③施設の備品 ④販売商品 ⑤近隣施設と比較 	
利用者からの評価・要望・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 <ul style="list-style-type: none"> アンケート回収枚数 540枚 (目標1200枚) 配布枚数981枚 満足度調査結果 ①スタッフ対応 97% ②館内外美観 97% ③施設の備品 96% ④販売商品 89% ⑤近隣施設と比較 93% 	
	(1) 良好とする評価 <ul style="list-style-type: none"> 施設が清潔で利用しやすい。 受付の方がいつも感じよく対応して頂きありがとうございます。スタッフの対応が非常に良い。 駅から近くで便利に使っている。 	
	(2) 苦情・改善等の要望事項 <ul style="list-style-type: none"> トイレにウォシュレットを設置してほしい。便座が冷たい。 Wi-Fiが欲しいと思う。 	
	《対応措置》 <ul style="list-style-type: none"> ウォシュレット、Wi-Fiについては、他施設の状況を勘案しながら検討していく。 	

3

5 事業収支

指定管理業務 事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成30年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
収入	利用料金	16,127,000	利用料金	12,229,770	歳入	施設使用料		施設使用料	0		
	指定管理料	0	指定管理料	0		行政財産使用料	35,588	行政財産使用料	26,395		
	自主事業※	16,001,000	自主事業※	12,011,166		国庫支出金		国庫支出金	0		
	雑入	7,000	雑入	7,506		県支出金		県支出金	0		
						その他	85,138	その他	85,138		
	計	32,135,000	計	24,248,442		計	120,726	計	111,533		
	支出	人件費	13,996,000	人件費		16,100,228	歳出	修繕料		修繕料	0
		消耗品費	757,000	消耗品費		703,051		保険料	16,991	保険料	16,991
		光熱水費	3,754,000	光熱水費		4,458,118		指定管理料		指定管理料	0
		委託料	1,706,000	委託料		1,620,324		業務委託料		業務委託料	0
		賃借料	43,000	賃借料		41,407		土地・建物賃借料		土地・建物賃借料	0
		通信費	316,000	通信費		286,483		その他	49,050	その他	370,440
		保険料	28,000	保険料		26,294					
修繕費		389,000	修繕費	491,208							
事業費(市指定事業)		0	事業費(市指定事業)	0							
事業費(自主事業)		9,384,000	事業費(自主事業)	6,733,601							
公租公課		5,000	公租公課	0							
現場管理費		0	現場管理費	0							
一般管理費(本社経費等)		1,757,000	一般管理費(本社経費等)	1,629,742							
計		32,135,000	計	32,090,456	計	66,041		計	387,431		
損益		0		△ 7,842,014	差引	54,685			△ 275,898		
自主事業収支 (単位:円)	収入	16,001,000	収入	12,011,166							
	支出	9,384,000	支出	6,733,601							
	損益	6,617,000	自主事業損益	5,277,565							
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】							50.2%			
	事業収支における経営分析			利用料金収入等により、運営費を賄うことを想定した事業であり、ふじみ野市として、指定管理料を支出していない。利用件数は前年度と比較して同等であったものの、大口団体の利用が無くなったことによる利用者の減から料金収入が計画額を大幅に下回った。また、施設管理に要する経費の中で、人件費の占める割合が高いことなどから、事業収支が支出超過となった。自主事業の実施等稼働率を増加させる取り組みを進めているが、稼働率(現在57%)のアップ(特に平日のホール、ギャラリー)が課題となっている。							
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由			一般管理費については、その他に属する経費が含まれ、支払手数料や諸会費など金額は小規模であるが毎年変動するため。							

2

6 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」、「4」、「5」、「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか	適	3
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか		
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	
	配置実績 館長1名、副館長1名、受付事務3名、清掃2名		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	適	
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	適	
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	適	
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
その他	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	適	
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
特記事項	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか	適	

7 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項			

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目	評価	総合評価	
		市民文化系施設(集会施設)	
施設の設置目的の達成	4	C	
指定管理者の健全性	3		
施設の有効活用	3		
利用者評価	3		
事業収支	2		
管理運営全般	3		
危機管理体制	3		
評価理由	空き部屋を有効活用して稼働率を向上させる取組みを行い稼働率の向上に努めた(平成30年度の稼働率57%)。具体的な取組内容としては、自主事業を中心に空き部屋での新講座の開催や単発講座の開講(5講座)を行った。既存の教室も含め、教室やイベントの告知に、デジタルサイネージの活用や各教室の具体的告知などにより自主事業の入会者の増加につなげた。その他、Fメールの活用など外部に向けた告知を積極的に実施している。		
取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	空き部屋を、自主事業で有効活用し稼働率を上げるために計画的に実施していく。また、地域コミュニティとの連携を図り、産業文化施設の設置目的達成に向け運営する。	自主事業においては、新しい講座や単発の講座を実施し、稼働率を上げるように努めた。	・昨年に引き続き、稼働率向上のための自主講座の実施。 ・施設維持管理の基本となる、定期点検の確実な実施と、その結果から長期計画を立て、計画的に改善を行う。

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

- ・安定した勤務体制を維持し、ご利用者様が快適に利用できる施設運営を心掛けて参りました。
- ・1年を通じお客様アンケートを実施し、ご利用者様のご意見を参考、また、改善して参りました。
- ・自主事業の積極的告知を行い、講座の認知度を上げてきました。

② 業務の効率化に対する取組

- ・本部と施設スタッフでの業務分担を明確にし、事務処理の確実性とスピードを向上してきました。

③ その他

- ・安全対策向上の為に、毎月安全推進ミーティングを実施してきました。
館内の危険箇所をスタッフ全員で確認しあい、事故を未然に防止するよう心掛けてきました。

(2) 管理業務実施上の課題

- ・管理運営体制のより一層の安定を目指し本部サポートの充実。
- ・施設、設備の維持管理における、長期計画を具体的に計画的に管理を行う。

(3) 次年度以降の取組

- ・ふじみ野市立産業文化センターの設置目的である、産業の振興、文化の向上の為にイベントの開催。
- ・これまで開催してきた、産文フェスタ、歌声コンサートは継続して実施していく。
- ・公平性、安全性の為に予約システムの見直しを行います。先着予約から、抽選予約へシステム変更。
- ・入間東部地区事務組合との連携による防災訓練の実施。